

樹木ラリー 記入カード

ばんごう 番号	じゆもく なまえ 樹木の名前	じゆもく せつめい 樹木の説明
①	ケヤキ	名前には「自立つ」という意味があり、葉はのこぎりの歯の形をしています。※京都清水寺の舞台の柱は、この木が使われています。
②	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	皮がたてに割れています。実は針のようなどげでおおわれていて、秋の食べ物の代表です。
③	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	秋になるとビタミンCがたくさんあるオレンジ色の果実ができます。皮をむいて干すと甘みが出て、おいしく食べられます。
④	ミツマタ	皮は和紙の原料になります。枝の先の部分が3つに分かれています。
⑤	ハナ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	4月から5月中旬ごろまで、白やピンクの花が咲きます。葉は、楕円形をしていて、「アメリカヤマボウシ」ともいいます。
⑥	サクラ	皮が横に細長くなっていて、日本を代表する木です。「ソメイヨシノ」というサクラは、江戸時代に染井村の植木屋さんが、吉野地方のサクラを売り出したことから、名前がつけられました。
⑦	ツバキ	葉は厚くて、緑色をしています。白や赤の花が咲き、種からできる油は、むかしから料理のときや髪の毛につけるときに使われています。
⑧	ザクロ	枝には多くのトゲがあって、6月から7月には、きれいな赤色の花が咲きます。そのあとにできる赤い果実は、食べると甘酸っぱいです。
⑨	モミジ	紅葉の時期によく見ることのできる木で、広島県では、まんじゅうにこの木の名前が使われています。
⑩	シャラ	夏に白い花が咲き、幹の肌はスベスベしています。
⑪	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	①～⑩のどれかと同じ木です。
⑫	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	①～⑩のどれかと同じ木です。
⑬	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	①～⑩のどれかと同じ木です。
⑭	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> モクセイ	秋にオレンジ色の花が咲き、心地よい香りがします。トイレの芳香剤としても有名です。
⑮	モチノキ	黄緑色の小さな花をたくさんつけます。トリモチ（ガムのようにネバネバしたもの）の材料となることから呼ばれています。
⑯	コウゾ	皮は和紙の原料になります。野外活動センターの和紙づくりは、この木の皮を使っています。
⑰	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	日本一長生きする木で「まっすぐな木」が名前の由来です。花粉に悩む人が多いです。
⑱	シュロ	枝はなく、幹がまっすぐに伸びて、細い糸のような毛でおおわれています。てっぺんは扇子のように葉が伸びています。
⑲	ロウバイ	冬に花が咲きます。花が満開になると、甘い香りがします。
⑳	イチイ	全体がとんがりコーンの形をしています。先端はとがっていますが、やわらかく触ってもそれほど痛くありません。秋には赤い実ができます。